

2023年度年報 脳神経内科

a. 体制

北野病院脳神経内科は日本神経学会認定教育施設であり、精神疾患を除くすべての中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患の診療を行っている。

脳血管障害については脳神経外科と共同で脳卒中センターを構成し、脳卒中学会専門医が24時間体制で脳卒中患者の診断・治療を行っている。緊急患者に対しては夜間や休日でも頭部MRIが撮影できる体制にあり、発症4.5時間以内の急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法(t-PA治療)も適応を厳密に判断した上でを行い、血栓溶解療法無効例に対してはカテーテルによる血管内血栓除去療法を脳卒中センターで施行している。

神経難病患者については、パーキンソン病、多発性硬化症、重症筋無力症などの患者受診数が関西で最も多い施設のひとつである。

パーキンソン病についてはドパミン補充などの薬物療法に加えて、刺激発生装置や薬剤注入ポンプを用いるデバイス補助療法をおこなっている。脳神経外科と共同で手術的治療（視床下核や淡蒼球に対する深部脳刺激術DBSなど）、本態性振戦に対してMRIガイド下集束超音波治療(MRgFUS)を施行している。内服治療を工夫しても一日の薬効が不安定な症例に対しては、レボドパ・カルビドパ配合経腸用液療法(LCIG)やホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物持続皮下注療法(CSCI)を行っている。

重症筋無力症については呼吸器外科と協力して手術適応例について胸腺・胸腺腫摘出術を行い、薬物治療をおこなっている。

筋疾患に関しては、針筋電図検査や筋生検を施行し、適切な治療をおこなっている。

さらに認知症、てんかん、慢性頭痛の診断や治療、末梢神経免疫疾患(ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発神経炎CIDPなど)に対する免疫グロブリン療法などを施行し、多岐にわたる神経疾患の治療で効果を上げている。

医学研究所では神経変性疾患の分子病理学的研究、パーキンソン病における薬物治療とデバイス補助療法の予後比較、非運動症状に対する薬物治療効果の検討を行っている。

主任部長兼神経センター副センター長

金子 鋭

副部長

小松研一

副部長

宮本将和

副部長

樽野陽亮

副部長
奥田真也

副部長
後藤昌広

医員
今中翔平

専攻医
松本佳己

専攻医
森内俊達

専攻医
岡 良祐

専攻医
石田光弘

専攻医
津島孝太郎

b. 診療実績

2023 年度入院患者数 794

疾患別の内訳

疾患名	入院患者数
脳血管障害	231
認知症	25
パーキンソン病・関連疾患	224
運動ニューロン病	15
末梢神経疾患	36
重症筋無力症	23
多発性硬化症・視神経脊髄炎	17
髄膜炎・脳炎	20
てんかん	56

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 松本佳己、奥田真也、津島孝太郎、石田光弘、森内俊達、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 FDG-PET に基づく経気管支肺生検にて診断に至った血管内リンパ腫の一例 第 65 回亀山正邦記念神経懇話会 2023/12/10(京都)
- 2 永田遼、森内俊達、奥田真也、石田光弘、岡良祐、松本佳己、今中翔平、後藤昌広、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 IVIg が著効した Acute oropharyngeal palsy (AOP) の 1 例 日本神経学会 第 126 回近畿地方会 2023/12/16(大阪)
- 3 小松研一 内科診療基本知識 Up to date ～日常診療で遭遇するしびれ～ 内科学会 第 241 回近畿地方会 教育セミナー 2023/9/2(大阪)
- 4 丸山浩二、小松研一、石田光弘、松本佳己、森内俊達、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、杉山純平、石橋良太、戸田弘紀、金子鋭 緊張型頭痛として治療されていた男性が意識障害で救急搬送され、脳脊髄液減少症による両側硬膜下血腫と診断した一例 日本神経学会 第 127 回近畿地方会 2024/3/3(大阪)
- 5 森内俊達、小松研一、石田光弘、津島孝太郎、松本佳己、岡良祐、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、金子鋭 初めて家族歴が確認された E200G 変異を伴うクロイツフェルト・ヤコブ病の 1 例 第 64 回亀山正邦記念神経懇話会 2023/6/18(大阪)
- 6 松本佳己、宮本将和、石田光弘、津島孝太郎、岡良祐、森内俊達、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、小松研一、金子鋭 HSV-2 髄膜炎後に椎骨動脈解離を認めた 1 例 日本神経学会 第 125 回近畿地方会 2023/7/1(大阪)
- 7 玉城駿介、古川公嗣、津島孝太郎、石田光弘、岡良祐、松本佳己、森内俊達、今中翔平、後藤昌広、奥田真也、樽野陽亮、宮本将和、小松研一、金子鋭 両側視床外側に病変を認めた意識障害の一例 第 145 回大阪神経内科の集い 2023/7/5(大阪)
- 8 樽野陽亮 ここまで来た！パーキンソン病に対する脳深部刺激療法 (DBS) こういうタイミン

グがいい～DAT を含めた実施施設への紹介の検討～ 第 64 回日本神経学会学術大会
2023/6/2(千葉)

- 9 樽野陽亮 48 才女性 右下肢歩行障害 第 17 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres
2023/7/22(大阪)
- 1 0 樽野陽亮 デバイス補助療法 (DAT) 第 17 回パーキンソン病・運動障害疾患コンgres、同第 6
回 PD ナース・メディカルスタッフ研修会 2023/7/22(大阪)
- 1 1 樽野陽亮 パーキンソン病経過中に認めた歩行障害の 2 例 第 8 回 MDSJ Video Forum
2023/12/17(大阪)
- 1 2 樽野陽亮 脳神経外科・脳神経内科 共に歩むパーキンソン病治療 ～ デバイス補助療法におけ
る最近の話題～ 第 6 回中四国機能外科懇話会 2024/3/30(山口)
- 1 3 樽野陽亮 手の震えの謎と解決法！ 第 4 回 北野病院 みんなの医療セミナー 2023/9/1(大阪)
- 1 4 樽野陽亮 本態性振戦・パーキンソン病における震えへの治療戦略 ～ 内科医として薬物治療
から外科的治療連携いろは～ 関西北陸 機能的神経治療オンデマンドセミナー 2023/12/4(オ
ンライン)
- 1 5 樽野陽亮 パーキンソン病治療のパラダイムシフト ～適切な治療選択肢を提示できるように
診療 update～ 医学研究所北野病院 K2-net 2024/2/15(オンライン)
- 1 6 Y. Tsuboi, T. Hasegawa, Y. Shimo, S. Kaneko, M. Tomiyama, K. Kashiara, S. Chiu, T.
Yamaguchi Impact of istradefylline on the onset of dyskinesia in Parkinson's Disease
patients with wearing off: a randomized controlled study (ODYSSEI) International
Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders 2023/8/27-31(Copenhagen,
Denmark)

【論文】

(原著論文)

- 1 上田 明広, 小松 研一, 高橋 牧郎 ドネペジル塩酸塩の関与が疑われた体幹姿勢異常の 2 例
臨床神経, 63 : 85-91, 202 (査読有り)
- 2 Takahashi M, ... Effect of istradefylline on postural abnormalities in patients with
Parkinson's disease: An association study of baseline postural angle measurements with
changes in Unified Dystonia Rating Scale total score *eNeurologicalSci.* 2023 Dec
30:34:100493. doi: 10.1016/j.ensci.2023.100493. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Shiba H, Furukawa K, Tamaki S, Takahashi M. Triple-furrowed tongue in myasthenia
gravis. *QJM* 2023 Jul 28;116(7):534-535. doi: 10.1093/qjmed/hcad035 (査読有り)

【研究】

- 1 パーキンソン病患者における L-ドパ/DCI 配合剤治療へのセレギリンあるいはゾニサミドの上乗
せ効果に関する無作為化比較第 II 相試験

(jRCT 登録番号: jRCTs051180098)

(高橋牧郎)

- 2 撮像データに基づく、パーキンソン病患者の姿勢障害に対するイストラデフィリンの影響の検証
(APIS-J 後ろ向き観察研究)
(高橋牧郎)
- 3 パーキンソン病患者の振戦に対する MRgVim-FUS の適応評価、有効性・安全性の解析研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 4 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法の適応基準と認知機能、精神状態への影響に関する検討
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完)
- 5 パーキンソン病に対する DAT (Device Aided Therapy: DBS, FUS, LCIG) の適応評価と有効性、安全性に関する研究
(高橋牧郎、樽野陽亮、新美 完、小松研一、古川公嗣、宮本将和)
- 6 パーキンソン症状を呈する入院患者の臨床像に関する検討
(古川公嗣、高橋牧郎、樽野陽亮、小松研一、新美 完、宮本将和)
- 7 パーキンソン病患者におけるイストラデフィリンのジスキネジア発現に対する臨床研究
(小松研一、高橋牧郎、樽野陽亮、古川公嗣、宮本将和、新美 完)
- 8 神経内科診療における精神科連携の意義の検討
(小松研一)